

学校名 川島町立西中学校
所在地 比企郡川島町中山270-1
電話 049-297-2427

1 本校の概要

西中学校は、埼玉県の中央に位置する人口約2万人の町、川島町にある。周囲は、圏央道のインターチェンジ開通の関係で、発展が進み、大型倉庫や工場等に囲まれている。1年生、78名、2年生、80名、3年生、83名、合計241名の生徒が在籍している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週間に関わる取り組み
- ・図書室の環境整備の工夫
- ・委員会の取り組み

(2) 実践の概要

ア 読書時間の確保

週3日、平日の火・水・金の8時25分から10分間、読書の時間を設けている。本に親しむ態度を育てるとともに、落ち着いて学校生活を過ごせるように、毎週取り組んでいる。

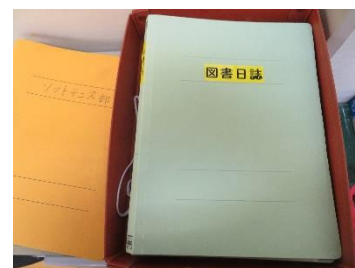
イ 図書室の環境整備

本年度は、入室者の制限、椅子・机の利用禁止、返却BOXの設置、日々の消毒等、コロナウイルス感染症対策を中心に据えた取り組みをした。また、おすすめ本のPOP広告や、図書室利用時の注意点等をイラスト化したポスター作成に、委員会を中心として取り組んだ。



ウ 図書室利用状況の確認

図書室の利用状況を把握するために、ファイル等を活用し、図書委員が利用者を目視確認できるようにした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 生徒によっては、1ヶ月に、3～4冊程度よんでいる生徒がいた。今後は、委員会を通して声をかけたり、読書マラソンの活動をしたりしながら、多種多様な本に親しむ機会を設けたい。

イ 図書室に来室した生徒が、他の生徒が書いたPOP広告を見て、手にとる姿が時々見られた。今後、図書便り等を活用して、新刊の紹介や図書室の積極的な利用に対する声かけに努めたい。

ウ 図書室のマナーを守りながら、活用する姿や日によっては、たくさんの本を借りている生徒の姿が目に見えて分かった。学年による差が見られ、特に2年生の利用が多いことが分かった。

(2) 課題

今年度は、コロナウイルス感染症の関係で、実践自体が難しかった。今後も同様の対応が求められるので、引継ぎを確実にしたい。また、図書室の利用者が少ないため、アンケートをとったり、生徒が図書室を利用する環境を整えたりしながら、生徒の利用促進に努めたい。

(3) おわりに

読書活動は、生徒がよりよい生活をしていく上で、必要不可欠である。今後、多くの生徒が読書に親しむことができるように、図書室環境の改善に努めたい。